

水産業強化支援事業事後評価報告書

		和歌山県水産振興課
政策目的	当地域の主要水産物であるイセエビの漁獲量を増大させ、漁業所得の向上を図るため、つきいそ（投石）による漁場の造成を行う。	
政策目標	イセエビ漁獲量を現在の916kgから1,215kgに向上させる。	整理番号：31-1
事業実施主体	串本町	
実施地区名	串本町橋杭、田並地区	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成31年度	令和4年度
交付金額	8,150,000円	
事業計画の内容	つきいそ（投石）による漁場の造成。（2,900㎡）	
評価	成果目標	イセエビ漁獲量の向上
	現状値	（令和4年度末時点） 1,308kg 試験操業結果から推定
	目標値	（令和4年度末） 1,215kg 計画時
	（1）現状値の説明	令和4年度に実施した試験操業の結果から、当該つきいそでの水揚増加量を推定すると510kg/年となり、令和4年度漁獲実績(798kg)に推定増加量分を加えた値(1,308kg)は、目標値を上回ると考える。
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）	当地域のイセエビ漁業は、安定して収入の得られる数少ない生業の一つである。また、操業に際して、高齢の漁業者（女性も含め）が多数従事しており、近場での安全な操業機会が増加し、当該つきいそ整備は、安定した漁獲、収入の向上に寄与している。
	（3）所見	つきいそ整備から3年間の自主的な禁漁期間を設け、適切な漁場利用・資源管理を徹底することで、当該事業の効果を一層高めていると考える。
（4）評価機関への意見等		
今後の改善方向等に関する分析	引き続き、適切な資源管理・漁場利用を行い、持続的生産を図っていくことが重要であると考えます。	